

男女共同参画社会をめざす

アゼリア

# Azalea

NO. 30

2004.3.10

特集

今、家庭科がおもしろい  
家庭科は「生きること」について学ぶ教科です



日本の教育は教育基本法(1947)をもとに戦後、新しく出発しました。3条では、教育の機会均等を、5条では男女共学を謳っています。そこで、戦前、女子だけが学んでいた「家事」「裁縫」から新しくなった「家庭科」は、小学校はもちろんのこと、中学校、高等学校も男女が自由に選択できる教科として出発したのです。

ところがそれからわずか10年を経て、家庭科を再び女子にだけ学ばせようとする考えが復活してしまいました。きっかけは、1956年、ソ連が人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功したことでした。アメリカ陣営は急速な科学技術の振興に迫られました。日本においても、ちようど経済の高度成長政策をすすめるうとしていた時です。経済界は、科学技術の振興とともに、企業戦士として丈夫で長時間働く労働者と、その労働者を癒し支える家庭を求めました。そこで持ち出されたのが、戦後の男女平等は行きすぎであったという批判と「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業は自然なことであるという男女特性論です。そのようなかで、中学校では、職業生活や家庭生活について学ぶ教科だった職業・家庭科は、1958年、教科名称を技術・家庭に変えられ、技術は男子、家庭は女子が学ぶことになり、高等学校では、1960年、家庭科は女子だけが学び、男子はその間、体育を学ぶことになりました。家庭科の内容も、女子が専業主婦として家庭経営ができるというものです。こうし

て中・高等学校での男女で異なる教育課程は、多少の変更はありましたが、約40年続きました。人々の性別役割分業意識を戦前に引き続き強化するには十分な年月でした。

ところで世界は、1975年、国連国際女性年を契機に男女平等への取り組みを強めていきました。また国内でも

1974年に「家庭科の男女共修を進める会」が発足し、家庭科を男女ともに履修できる制度を求めて運動を始めていきました。1979年には、「女子に対するあらゆる差別の撤廃に関する条約」が国連で採択されます。そこには、性別役割分業を見直すこと、さらに教育に関して男女が同一の教育課程で学ぶことなどが

述べられています。日本がこの条約を批准するためには、男女で異なる教育課程を廃止する必要があります。そこで、文部省(現文部科学省)はようやく、1989年の学習指導要領で、男女同一の教育課程にすることにし、家庭科を男女ともに必修として学ぶことにしました。1999年、日本は「男女共同参画社会基本法」を制定し、2000年に「男女共同参画基本計画」を策定しました。そこで男女平等の意識づくりと性別役割分業から自由になる教育の必要を述べ、そこに家庭科教育の充実を位置づけています。こうして性別役割分業の意識を形成してきた家庭科は、今、性別役割分業を克服する教科へと姿を「転させているのです。」

(聖心女子大学教授、北区アセリアプラン推進区民会議副会長) 鶴田敦子



SPECIAL 特集

# 今、家庭科がおもしろい

家庭科といえば、女子だけが学ぶ科目だと思いませんか？

それはもう過去のことです。

家庭科を男女で学ぶようになって10年。

どうして男女ともに学ぶようになったのか、  
家庭科の歴史をたどりながらみていきましょう。



# 男女がともに学ぶ家庭科の授業とは？

教室からの報告

王子中学校・岩淵中学校・豊島北中学校



## 岩淵中学校では……

### 魚1尾からいのちのつながり(循環型社会)を考える

「どーしてこんなに赤いの?」「手術しているみたい」「こんなに減っちゃった」「かわいそう」調理室にひとり1尾魚をさばっている生徒の声が響きます。

魚は鱈1尾を手でさばき、つみれ汁や蒲焼にします。鱈が高価な時は、鱈を庖丁で三枚におろしてつみれ煮を作る時もありますが、必ず骨は油で揚げ「骨せんべい」にして食べます。「こうすれば骨も食べられるんだー」と生徒たち。「そうよ、骨はカルシウム」とわたしが付け加えます。頭もだし汁に使えることは教えますが、実習ではやっていません。

魚をさばく前には自分のさばく魚の重さを計ります。さばいた後の食べられる部分の重さも量っておきます。ある男子生徒は、鱈の骨のまわりの身がもったいないとスプーンで集めていました。

1週間後の授業では「魚をさばいた時の自分の気持ち」を発表します。それから「自分がさばいた魚の気持ち」を表現してみます。こんなふうに伝える生徒もいます。

**僕は鱈**  
ある日網に引っかかって拉致された。そして家族と別れた……。僕は気がついたら岩中に来ていた。僕は何をされるんだろう? な、なんと三枚に切られたのだ。痛い……。人間は最悪だ! その後つみれにされ、僕は得体の知れないかっこうになった。そして人間の中に入ってしまったのだ。とても痛いけど、まあ弱肉強食の世界だと思えば仕方ないのかなと思う。人間のためになつたトラス思考に考えれば、まだ許せるかな? でも痛い……

わたしたちは魚を食べます。「魚の命を殺して食べていく」、そして、「鱈や鱈の命はもっと小さな魚やプランクトンを食べて生きている」という答えから命のつながりが少しわかってきます。さらに、食べもののつながり、命のつながりがわかるキーワードを用いてみんなで考え、その課題から「人間の命は……」の文を書いて授業のまとめをします。

「私たちが生きていくために必要なものができるまでには、すべてつながっていることがわかり、おもしろかった」。技術・家庭科の授業の中から社会やわたしたちの暮らしのあり方が見えてくるのです。

大量生産、大量消費、大量廃棄というわたしたちの生活スタイルを変えるため2000年には循環型社会形成推進基本法もできました。栄養素のことはもちろん「もったいない」と食べ物の命をいつくしみ、さらに、食物連鎖から循環型社会の大切さを理解させる食材としての魚。その魚から考えさせる授業の大切さを、今、感じています。



## 王子中学校では……

幼児のおやつ「牛乳かん」を作りました  
3年生の女子9名、男子8名の17名(3年生は1クラスを半分にして少人数学習)が色とりどりの三角巾をつけ、6班に分かれて楽しく実習していました。粉寒天と水を手早くかき混ぜる、シロップを作る、トッピングのフルーツを切って盛り付け、後片付けに至るまで、どの生徒も手早く、先生から声がかかると前に率先して作業を進めていました。



## 豊島北中学校では……

### 子育ては誰がしているの? 将来は?

「子育てへの男女のかかわり」をテーマに授業を行いました。これは保育の授業を人権教育の一環として取り組んだものです。子育てへの男女のかかわりの大切さがいわれ、男性も育児休暇が取得できるなど法整備も少しずつ進んでいますが、現実には「子育ては母親が主に行い、父親ができるだけ手伝う」というのが大多数です。この授業のねらいは子育てに男女ともに関わることの大切さに気づき、自分の将来に生かす意欲と態度を育てることです。なお単身家庭の生徒には十分配慮して指導しました。



学習項目	◆子育ては誰がするのか	◆母親と子育て	◆父親と子育て	◆まとめ
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が幼い頃、誰にどんなことをしてもらっていたかを発表する</li> <li>母親に子育ての大半が任されていることに気付く。</li> <li>なぜ母親が子育てをしているのかを考える。</li> <li>「育児をしない男を父とは呼ばせない」のポスターが作られた背景を考える。</li> <li>父親が子育てに参加しにくいのはなぜか。</li> <li>父親の育児休業取得率を知る。</li> <li>自分の子どもができた時「母親として父親として子育てにどんなことを望むか、または父親としてどのように子育てに参加するのか、子育てへの男女のかかわりについて」考えたことをまとめる。</li> </ul>			
男女平等の視点に立った留意点		<ul style="list-style-type: none"> <li>☆母親、父親の子育ての様子を発表を聞きながら思い出す。</li> <li>☆「父親の育児参加の大切さ」が求められているのに現実には母親が大半を行っていることに気付くようにする。</li> <li>☆単身家庭のあることも考えるようにする。</li> <li>☆男女の賃金差に気付くようにする。</li> <li>☆母親に育児の大半を任せているのはなぜか? 子育てを母親中心ですすめられてきた歴史に気付くようにする。</li> <li>☆父親の子育てへの参加の大切さが社会に求められていることに気付くようにする。</li> <li>☆ポスターに賛否両論あったことを紹介する。</li> <li>☆育児休業取得率について世界の国々との比較、男性の子育て参加への意識の変容に気付くようにする。</li> <li>☆「子育てへの男女のかかわり」をテーマに自分の意見をまとめる。</li> <li>☆母親だけでなく、父親の周囲のかかわりについても考える。気持ちだけでなく条件整備について気付くようにする。</li> </ul>		

### 生徒の感想

●「男性は働き女性には育児」という考えは古いと思う。今は働くお父さんお母さんもたくさんあります。女性のきもちを大切に男性も子育てを考えを変えて育児も子育てをしたほうがいいと思います。

●育児をとるのは2人の話し合いで決めたほうがいい。女の人か男の人か、男の人は「自分の子ども」なんだから少しは面倒を身はし、と思います。

●「子育てとさん」はいいと思います。

●どちらが子育てをしても変わりないから、両親が愛情をもって育てれば、いいと思います。できればなるべく両親ともに協力して子育てをするのが子どもにもいいと思います。でも自分が父親になったらどうなるかわかりません。

●わたしは父親に育児を任せてほしいと思います。子育てはたいへんだらうけど、休みの日に公園に連れて行ってくれたりするならそれでいいと思います。

●中学校の学習内容は幼児期の1歳から6歳(就学前)を対象とし、0歳から1歳の乳児期は高等学校で学習しますが人権教育の研究を進める中で以上の内容に取り組みました。

## 学校で学んだことを生活に生かすことが大切

技術・家庭科は、生活経験が少ない子どもたちに、衣食住生活やものづくりに関する実践的・体験的な活動、男女共同参画社会も含め、家庭生活の基礎としての人間関係や家族の在り方等の生きて働くために必要な基礎的・基本的な内容を学習する重要な教科です。昭和55年の学習指導要領の改訂から、男女が共に履修することになりました。当時、授業形態は、別学が多かったのですが、男子に初めて「食物」の学習を行ったとき、数名の保護者が職員室に駆け込んできました。「うちの子は「男子厨房に入らず」という教育方針で

きたのに、食物の学習をするとはどういうことか」との苦情でした。このとき、現在から将来の生活に必要な「食」に関する内容の重要性を真剣になって説明しました。

子どもたちは小学校家庭科、中学校技術・家庭科、高等学校家庭科と履修してきますが、学校で学んだことを生活に生かすことが大切です。ご家庭でも協力いただき生かせる工夫をお願いいたします。

橋本由愛子(北区中学校家庭科研究部長)

## 授業を参観した保護者の声

- ★教科書の内容がわたしたちの時代(栄養食品群等の勉強)と比べ、様変わりしているのに驚きました。人が生活するために必要なことが一般的に学習できるようになっていますね。でも、これだけの内容の授業をするのに、技術・家庭科の時間が3年生は隔週で1時間しかないの不思議です。
- ★教科書は生活全般について記述がされていると思いますが、出産と乳児のことについての記述がないように思います。うちは娘が3人いて、長女に子どもが生まれ、中学生の3女がいる手伝っています。せつかつ技術・家庭科。出産と乳児の記述もあっていいと思います。  
※出産・乳児については高校で学習します。
- ★子どもは男2人と女1人。店を営んでいる、子どもたちは一緒に家事をせざるを得ない状況なので、掃除、食事づくりをはじめ、洗濯も入浴しながら自然体でしています。学校で習った調理をときどき作ってくれ、先日は幼児のおやつで実習してきた焼きバナナのデザートをご馳走してくれました。妹のバレンタインチョコづくりには男の子も楽しそうに加わっています。

1 生徒が家庭科をどうとらえているかアンケートを実施してみました。

1 今までに、技術・家庭科の授業で学んだことで一番印象に残っていることは何ですか?

- 小さい子が楽しめるおもちゃをグループで作り、保育園に行ってきたこと。小さい子どもとどう接していいかわからなかったけど、みんなが寄ってきて楽しかった。
- 調理実習。今まで料理を作ったことがなかったので、はじめての経験をしました。
- ビデオでどうしたら赤ちゃんが泣き止むかなどを勉強し、眼が見えなくても音のする方を向いたり、ミルクのにおいに反応するのを知り驚きました。
- 保育、調理、衣服、さまざまな体験ができました。
- ハーパンツを作ったこと。初めてミシンで縫ったこと。

2 技術・家庭科を学ぶ前と後で、あなたはどのように変わりましたか?

- 学ば前は母親に「メシまだか?」とか「洗濯早くしてー」とか言っていました。が授業や実習を通して、親の大変さがわかりました。
- 麺1本すら茹で方を知らなかったが頭に入りました。
- 「わたしの親は子育てをしつかりやらなかったんだ」と思っていました。が技術・家庭科を学んで「親も親でやるのがあって大変だったんだ」と実感しました。他人を思いやる気持ちが増えたと思います。
- 家庭の仕事の大変さ、重要さ、楽しさがわかりました。
- 衣服がどういう手順で作られるか考えるようになった。栄養バランスを考えるようになった。ミシンが少し使えるようになった。
- 家事や小さい子と話すことが得意でなかつたが、その楽しさを知りました。
- 以前は家族の一員として役に立っていませんでしたが、今は役に立っていると思っています。



### 将来の職業に夢と希望をもって

北区男女共同参画推進課では平成15年度より、新たに「中・高生のための職業教育キャラバン事業」を始めました。

女子生徒たちが様々な職業について具体的なイメージを持ち、将来、夢と希望を持ってチャレンジできるよ、これまで女性の進出が少なかった職業分野で活躍している著名な女性を中学校、高等学校に派遣し、職域拡大への支援を行うものです。

実施校となったのは王子中学校(橋本由愛子校長)、岩淵中学校(小澤決校長)、田端中学校(福岡由美子校長)です。

講師は元NHK解説委員で現在、世田谷文化生活情報センター館長の永井多恵子氏、日本のシンクロナイズドスイミング指導の第一人者で、小谷実可子さんをはじめ9人のメダリストを育てた現日本水泳連盟理事・シンクロ委員長金子正子氏、そして、鋭い時代感覚と人間に対する暖かい感性を持ち、個性ある番組の司会者として活躍、現在、林野庁林政審議会委員もつとめる芳村真理氏の3名です。

講師の方々には予定時間を超えて熱く語りかけ、生徒たちにそれぞれエールを贈り、会場をあとにしました。

# 中高生のための職業教育キャラバン事業

#### 生徒たちの感想

- 講師のパワーがバシバシ伝わった。
- 講師のように自分も夢を持ち続け、自分の個性を生かした職業につきたい。
- 今日から自分も将来について本気で考えてみたい。
- 自分の将来の重みを知った。
- 現在、部活でバレーボールをしているが、将来は「全日本の選手」という大きな夢をもって練習に励んでいきたい。
- 夢や目的を達成するためにたくさんの努力が大切なことがわかった。
- チャレンジすることは自分自身を勇気付けることだということが分かった。
- 講師のように、何事にも立ち向かい、訴えていけるものを自分も持ちたい。
- 「コンプレックスがその人の魅力になる」ことを講師自身の話で解った。



金子正子氏



芳村真理氏



永井多恵子氏

### 情報コーナーから

こんな本が読みたい

#### 困ったときに役立つ本たち

「男女共同参画に関する図書なんて難しそう…」と思われがちですが、女性センターでは、私たちの身近な問題に役立つさまざまな本をそろえています。あなたの「困った!」にこたえてくれる本を探してみませんか。

「こんなときどうする?女性のための法律相談ガイド」[320] 東京弁護士会・両性の平等に関する委員会編/ぎょうせい/2003

「離婚でソンをしないための女のお金BOOK」[324] 離婚とお金を考える会+音川敏枝著/主婦と生活社/2003

「かんたん図解 女の年金・男の年金」[364] 山本礼子著/中経出版/2003

「女性の転職・再就職 パーフェクトガイド」[366] 新星出版社編集部編/新星出版社/2003

#### 新着図書のご紹介

##### お姫様とジェンダー

若菜みどり著 筑摩書房2003 (367.1)

アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門

プリンセス・ストーリーである「白雪姫」「シンデレラ」といったディズニーアニメを題材にして、昔話に隠された意味を、筆者と女子大生が読み解いていく。文化においてジェンダーがどのように構築され、その呪縛から解放されるにはどうしたらいいかを考えるための一冊。

「10年後の「結婚しないかもしれない症候群」」[367.4] 谷村志穂著/草思社/2003

「おーい父親 PartI 子育て篇」[367.3] 汐見稔幸著/大月書店/2003

「できれば幸せに働きたい」[366] 日本経済新聞生活情報部編/日本経済新聞社/2003



## 「どうせ家庭科なんか」から「家庭科は一生の財産」へ



今春より男女共学となる私立桜丘女子中学・高校(北区滝野川)。家庭科の岩本典子先生に実際の家庭科の授業の様子、女子校から共学校になることでの変化などについてお話を伺いました。

**Q** 男女共修となることで家庭科の授業風景はだいぶ変わってくると思うのですが。

**A** 女子だからといって、必ずしも調理や被服や育児が好きで得意とは限りません。逆に、男子でもそれらが好きで得意な生徒もいます。こういうことを通じて「性差より個人差」ということを強く伝えていきたいと思っています。また、いろいろな個性を持つ女子と男子が授業の場で「こういう男子(女子)もいる」とお互いを認め合えるよう指導していきたいと思っています。

**Q** 最近の家庭科教科書を見ても昔に比べ扱う領域が格段に広がったように思うのですが。

**A** そうですね。保健など他教科とも連携をとり進めています。性や出産に関して女子校時代から授業で扱ってきました。今の女子高生は比較的能力と受け止めている気がしますよ。

**Q** でも共学になることで隣に座っているのが異性ということになるわけですから、特に性についての分野は進めにくくなるのではないのでしょうか。

**A** いえ、むしろ女子だけの問題とか男子だけの問題とせず「男女両方の問題」として扱っていかないと期待しています。性被害は圧倒的に女性が多いですが、女子に注意を促すだけでなく、男子

といつよにお互いの性を大切にすることを学ぶことが根本的解決につながると思います。出産にしても実際に産むのは女性ですが、男子にも性と出産と自分のかかわりを伝えることで「男女が力を合わせて行う育児」を提案できると考えています。これからはすべてにおいて「男女両方の問題」という捉え方が求められていくのではないのでしょうか。

**Q** ジェンダーについて、今まで女子高生に投げかけられたことはありますか。

**A** はい、あります。ただ、いきなりジェンダーとはいうのではなく、生徒の日常的な体験を引き出す形をとっています。たとえば「今までに「女の子なんだから」とか「女の子でしょ」と言われたことがある人は手を挙げてみて、という具合です。約半数の生徒が手を挙げます。さらに、それに対して「嫌な気分がした」という生徒はその半数から三分の二に及びますね。「それはなぜ?」と問い、具体的な授業をしていくことで、最初はジェンダーにまったく興味なかった生徒も少しずつ耳を傾けるようになっていくようになります。

**Q** 最後に、共学化、大学進学希望者増加の中にあつて家庭科という教科をどのように位置づけていくお気持ちはいかがでしょうか。

**A** 私は最初の授業の時、わざと「どうせ家庭科なんて」と生徒に振ってみるんですよ。でも、人間が生きていくために最低限必要なことを学ぶ家庭科の意義はむしろ大きくなってきたと感じています。生徒も家庭科を学んでいくうちそれに気づいていくようです。ですから、家庭科が生徒にとって「一生の財産」となるような指導を心がけていきたいと思っています。

「運針が苦手という女子がいてもいいし、お菓子作り大好きという男子がいてもいいですよ」と笑顔でおっしゃった岩本先生の言葉。この言葉こそこれからの家庭科の進むべき方向を指し示しているような気がしたインタビューでした。



### 高校の家庭科の現状 今 都立高校では……

平成14年度からの学校完全週5日制の実施また平成15年度より実施された新教育課程において、日本の教育のあり方はこれまでにない大きな転換点を迎えています。

新学習指導要領のねらいは、完全週5日制のもとにゆとりの中で一人一人の生徒たちに「生きる力」を育む新しい学校教育を目指すことにあります。

基本的生活に関わる教科としての家庭科は「生活の原点である家庭とは何か」を考え、人と人との関わりを中核としています。

同時に平成6年度からの男女必修が実現し、定着して10年目を迎えました。

これは家庭科の先生達の熱心な取り組みが着実に浸透し、生徒・保護者・地域社会の方々に理解された努力の賜物と思われます。

この考えは「男女の開かれた家庭科共学必修」により、男女が互いに経済的・生活的にも自立し共同して、家庭・社会を築くという「男女共同参画社会の推進」に対応していく中で高い教育価値が存在すると認識しています。

この実践により「家庭科」という教科そのものが、もはや多くの女性が体験してきた「家事・料理・裁縫の合科教育であり、技能・技術優先の女子のみの教科である。」といった家庭科特有の固定観念を払拭していく方向にあると確信します。

今後わたしは「男女が共に学ぶ家庭科」の実践を通して「真に豊かな生活とは何か」を総合的・科学的な視点で理解させ、他の教科では学習できない「家庭科」をめざし、「家庭科」こそ21世紀の人間に必要な「生きる力」を育成する教科であることをアピールしていきたいと考えます。

山田京子(都立赤羽商業高等学校家庭科教諭)

4/1(木) 女性センターから男女共同参画センターへ

スペースゆ;

北とぴあ5階・6階

がオープンします!

広場として、拠点として  
さまざまな「ゆう」がはじまる場所に、  
あなたもいらっしやいませんか。

講座、情報、相談など  
いままでの機能に加えて……

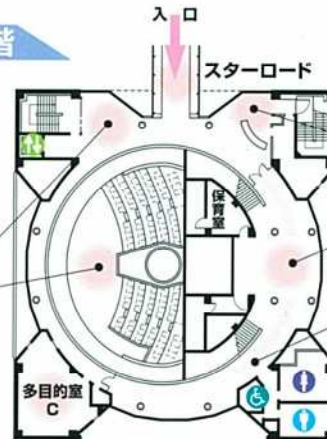
## コーナー for you

世界と北区のつながりや世界の女性の今が見えるコーナーです。

## プラネタリウムホール

プラネタリウム投影だけでなく、コンサート、演劇など  
さまざまに使えるホールです。

6階



5階



休館日、開館時間が変わります!

&lt;休館日&gt;

月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日)、祝日、年末年始

開館時間：火曜日～土曜日 午前9時～午後9時  
日曜日 午前9時～午後5時

※施設の利用開始は、4月6日からとなります。

EVENT  
4月17日(土)、  
オープニング記念イベント開催

移転に関するお問い合わせは…北区女性センター TEL.3913-0161

G A L L E R Y



協力/東京都立飛鳥高等学校

作/古田土 尚子 Kodato Naoko

平成14年3月東京都立飛鳥高等学校卒業。  
現在帝京大学保育・福祉専門学校2年在学中。  
作品名「森の生命」は釉をアクセントに森に息づく生命を、葉の形をくり抜いた陶器から流れ出す光で表現した作品。作者が東京都立飛鳥高等学校2年在学中に制作した。同校で3年間陶

芸部に所属。他にも多様な作品を作り出している。この作品は平成12年東京都文化連盟主催の中央展・美術工芸部門で選抜され、平成13年に福岡で開催された第26回全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門で文化連盟賞を受賞した作品。

<JR・営団地下鉄南北線>  
王子駅徒歩2分

北とぴあ5・6階

男女共同参画センター スペースゆ;



編集後記

家庭科に限らず、「生きることに  
ついて学ぶ」という姿勢はとても大  
切です。

1971年の開館以来、女性セン  
ターも、そんな熱い思いを持った多く  
の方々と一緒に歩んできました。

そしてこの春、男女共同参画セン  
ターと名称を変え、グラウンドピアノ  
を備えたプラネタリウムホールなど、  
新たな活動ができる施設として生  
まれ変わります。

スペースという語には、場所、宇宙  
の他に自由な時間という意味があ  
りますが、愛称にふさわしく、区民  
一人一人がいきいきと暮らせるための  
さまざまな取り組みを行っていきます。  
「スペースゆう」にご期待ください。